

ノリ養殖試験

三木 文興・足助 光久

は し が き

本県におけるノリの採苗は、野外人工採苗を主体として進められて来たが、採苗管理について残された問題がある。このため本年度は、ノリ網の張込層について比較試験を行なった。

また冷蔵網については、本県における気象状況からみて、天日乾燥は困難であるので、室内乾燥について試験を実施した。

試 験 場 所

1. 張込層試験 むつ市大湊地先
 野辺地町馬門地先
 平内町浜子地先
2. 冷蔵網試験 むつ市大湊地先

試 験 方 法

1. 張込層試験
試験網は、5間網5枚重ねとし野外人工採苗に より 3 柵づつ、50 cm 層に張込み、1潮後に 50 cm → 40 cm 層と 50 cm → 60 cm 層にそれぞれ 1 柵づつ網を上下操作し、残る 1 柵は 50 cm 層のままとした。
第1回は、9月6日～11日に、大湊、馬門、浜子に各々 3 柵づつ、第2回は、9月20日～26日に、上記3ヶ所に張込んだ。張込後1潮毎に11月下旬まで網糸を採取し観察した。
2. 冷蔵網試験
大湊地先で採苗したノリ網（葉長～2～4 cm）4反を使用し、11月24日に水切り後脱水機により5分間脱水し、その後送風加熱（14.5～20.2℃）による室内乾燥を行なった。乾燥時間は、2時間30分と4時間とし、乾燥後、ポリ袋に入れ密封してダンボール箱に収容、冷蔵保管（-23℃）した。沖出しは、大湊地先に12月16日、1月5日、2月7日、3月5日の4回行ない、その後の芽落ち、生長等について観察した。

試 験 結 果

1. 張込層試験
比較試験の結果から大湊、野辺地地先では、やや同じ傾向が見られ、50 cm 層ないしやや高目の

採苗管理が良く、浜子地先では50cmないしやや低目の管理が芽付き生長とも良いが、病害の発生などをみると、更に管理の検討が必要である。張込層については、本県では、50cm層が基準となっており、今回の試験でも50cm層が一応良い結果が出ているが、各地先別にみるとわずかではあるが差がみられる。採苗時の管理を考えると、ノリ芽の附着し易い層が適切であるが、ノリ芽が大きくなる程、病害や附着物を考慮に入れた張込層での管理が必要と思われる。

2. 冷蔵網試験

ノリ網5分間脱水後の重量は、1枚当たり2.5~2.8kgとなり約12%減であった。室内乾燥では、2時間30分後で1.2~1.3kgとなり、脱水後の48~49%、4時間後で43~44%の重量となった。沖出し後の芽落ち、生長状況については、第1表のとおりで12月16日に沖出したものは生長が良かったが、1月、2月に沖出したものではノリの脱落がやや多く、生長不良であった。この原因については沖出し時の水温が40℃前後と低いこと、室内乾燥におけるノリの活力低下等が考えられ、今後更に検討する必要がある。

第1表 冷蔵網沖出し生長状況

沖出し月日	試験網	乾燥時間	沖出し水温	沖出し後の経過			結果
				沖出し時	生長状況	摘採	
昭和43年 12月16日	No.1 (1/2枚)	2時間30分	10℃	赤変葉体、なし	1月5日葉長6~8cm	1月14日80枚	良
	No.3	4時間		20%			1月5日葉長7~10cm
昭和44年 1月5日	No.1	2時間30分	4℃	30%	1日後赤変回復 5日後葉長1~2cm (鳥類による食害あり)	摘採せず	やや良
	No.3	4時間		20%			〃
昭和44年 2月7日	No.2	2時間30分	3.8℃	50%	5日後も回復せず	摘採せず	不良
	No.4	2時間		20%			5日後に赤変回復

(註、No.2の網は、1部乾燥不足のため、出庫時湿気がみられた。)

養殖状況について

昭和43年度における本県の養殖状況は第2表のとおりである。

第2表 ノリ養殖状況

漁協名	業者数	県外種苗 反	県内種苗 反	生産網数 反	生産数量 干枚	生産金額 円
小湊	135	6,332	4,088	1,500	632	11,241
野辺地	14	0	2,300	1,200	815	12,858
むつ	6	0	400	300	150	262
その他	20	150	50	100	50	60
合計	173	6,482	6,838	3,100	1,647	24,421

本年度は、採苗は各地先とも良好な結果であったが、11月中旬から発生した赤ぐされの

ため主要漁場である小湊の生産が低く、不作年（165万枚）となった。この原因として小湊地区における移殖網（県外種苗）が多く入り、密殖傾向のところに、11月の静穏な気候と高水温が重なり、赤ぐされの蔓延を起したことが考えられる。また病害対策としての冷蔵網については野辺地、小湊地区で約500反が冷蔵されたが、種苗の活力、乾燥等に問題があり生産に結びついたものは少なかったものと思われる。